

# 地 理 B

(解答番号  ~ )

第1問 世界と日本の自然環境に関する次の問い(A, B)に答えよ。(配点 16)

A 次の図1を見て、世界の自然環境に関する下の問い(問1~3)に答えよ。

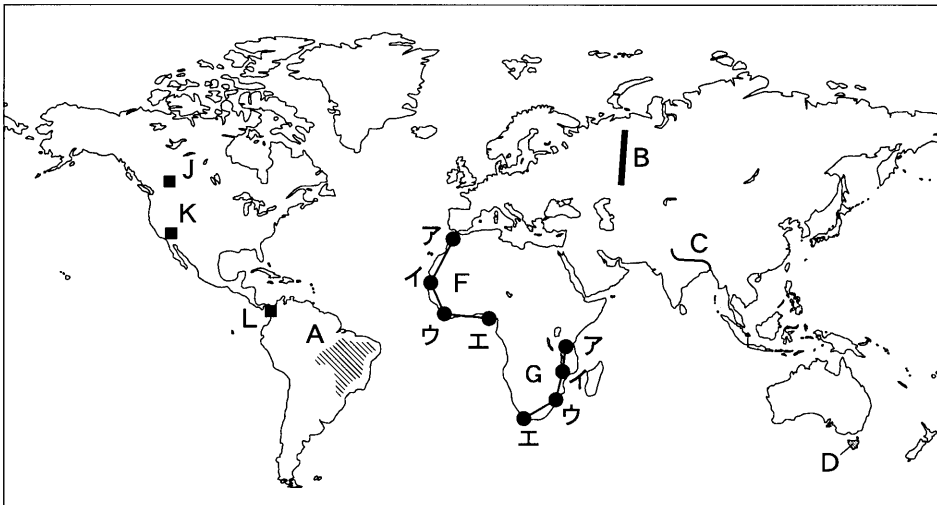


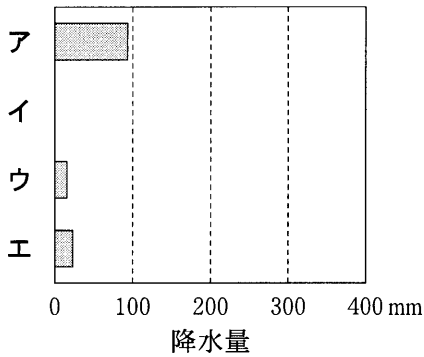
図 1

問1 図1中のA~Dの地形について述べた文として最も適当なものを、次の①~

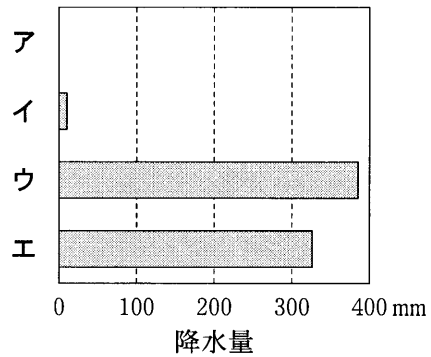
④のうちから一つ選べ。

- ① A高原は、長期にわたる造陸運動ぞうりくによって形成されている。
- ② B山脈では、活発な隆起運動が生じている。
- ③ C川の河口付近には、扇状地が広がっている。
- ④ D島では、火山活動が盛んである。

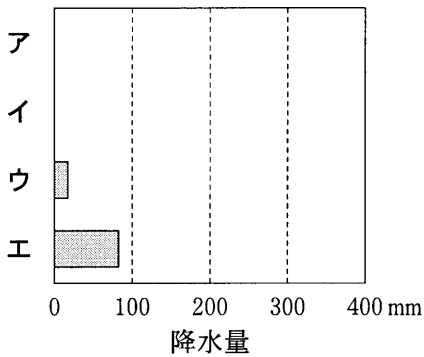
問 2 次の図2は、図1中のF、Gの線上の地点ア～エにおける1月、7月の降水量を示したものであり、図2中の①～④は、Fの1月、Fの7月、Gの1月、Gの7月のいずれかである。Fの線上の4地点における7月の降水量に該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。 2



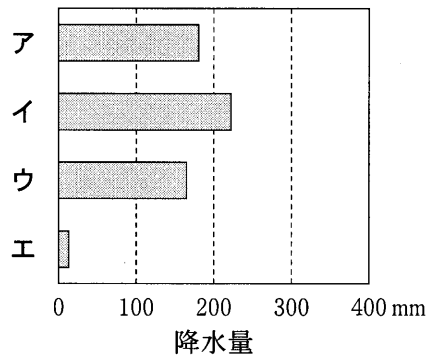
①



②



③



④

『理科年表 CD-ROM』により作成。

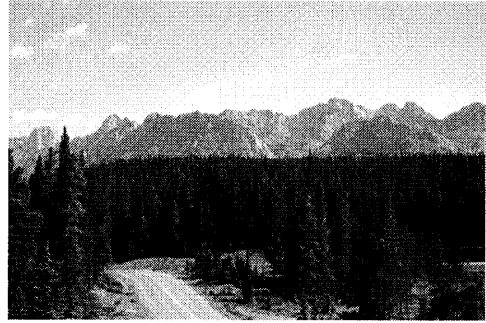
図 2

## 地理B

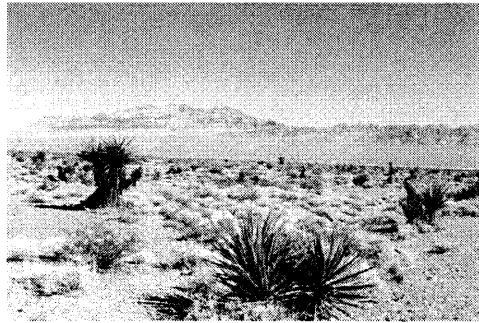
問 3 次の写真1中のカ～クは、図1中のJ～Lのいずれかの地点でみられる特徴的な植生景観を撮影したものである。カ～クとJ～Lとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 3



カ



キ



ク

写真 1

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	J	J	K	K	L	L
キ	K	L	J	L	J	K
ク	L	K	L	J	K	J

B 次の図3を見て、日本とその周辺地域の自然環境に関する下の問い(問4～6)に答えよ。

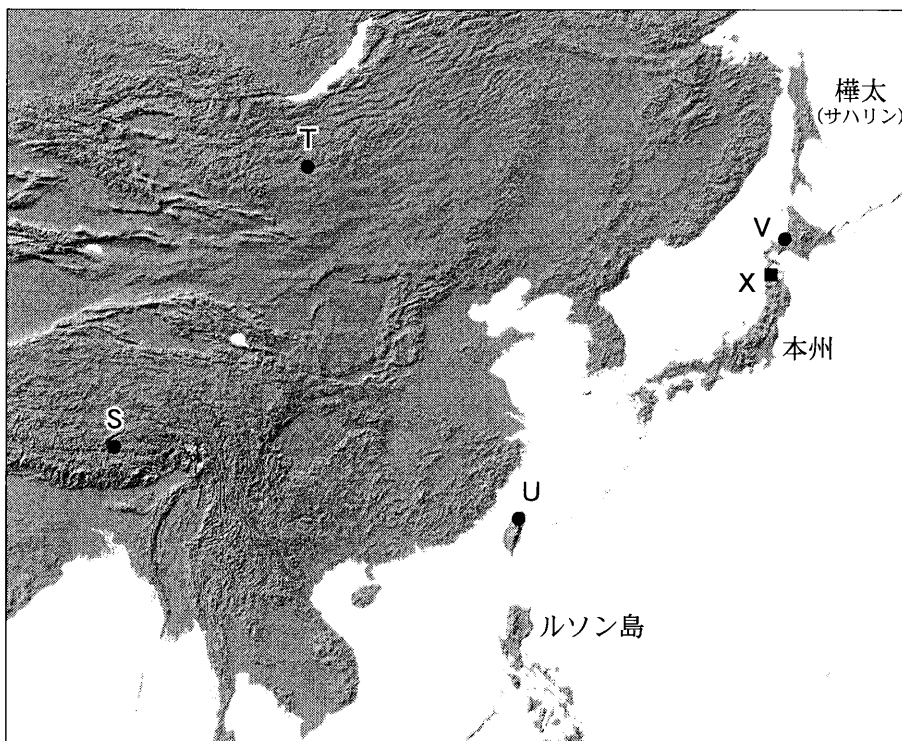
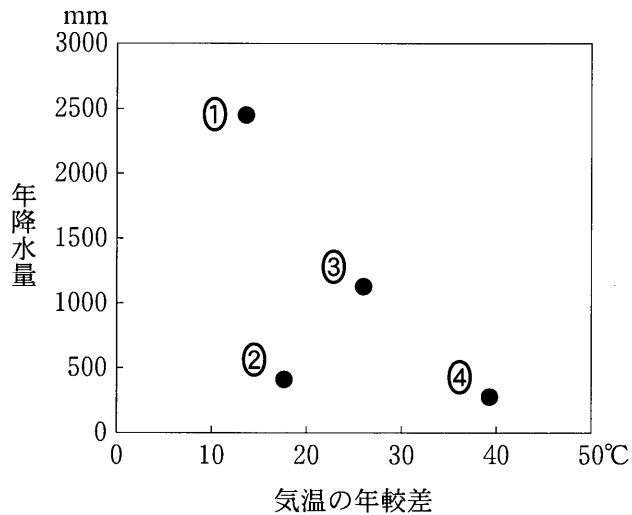


図 3

## 地理 B

問 4 次の図 4 中の①～④は、図 3 中の S～V のいずれかの地点における気温の年較差と年降水量を示したものである。S に該当するものを、図 4 中の①～④のうちから一つ選べ。



『理科年表 CD-ROM』により作成。

図 4

問 5 次の文章は、図 3 中の樺太からふと(サハリン)、本州、ルソン島でみられる土壤について述べたものであり、文章中の空欄サ～スには褐色森林土、ポドゾル、ラトソルのいずれかの土壤が当てはまる。サ～スと土壤名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

土壤の広域的な分布は気候を反映しており、日本の本州には(サ)とよばれる土壤が広く分布している。本州よりも高緯度に位置する樺太には(シ)とよばれる土壤が、本州よりも低緯度に位置するルソン島には(ス)とよばれる土壤が、それぞれ広く分布している。

	サ	シ	ス
①	褐色森林土	ポドゾル	ラトソル
②	褐色森林土	ラトソル	ポドゾル
③	ポドゾル	褐色森林土	ラトソル
④	ポドゾル	ラトソル	褐色森林土
⑤	ラトソル	褐色森林土	ポドゾル
⑥	ラトソル	ポドゾル	褐色森林土

問 6 次の図 5 は、図 3 中の X の地域の 2 万 5 千分の 1 地形図(原寸)である。この地域の地形について述べた下の文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。

6

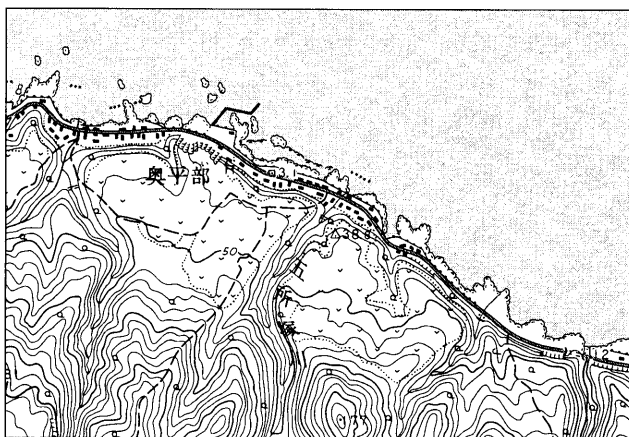


図 5

この地域には、① 岩石海岸が発達しており、② <sup>たいせき</sup>堆積作用が活発であることを示している。海岸線より内陸側には、③ 海岸段丘が発達しており、④ この地域が隆起してきたことを示している。

## 地理 B

**第 2 問** 山形県最上地域\*に住むチエミさんは、先生の指導を受けながら夏休みの課題として身近な地域の調査を行った。山形県および最上地域を示す次の図 1 を見て、自然や人々の暮らしに関する下の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 18)

\*新庄市、金山町、舟形町、真室川町、最上町、大蔵村、鮭川村、戸沢村の 1 市 4 町 3 村で構成される。

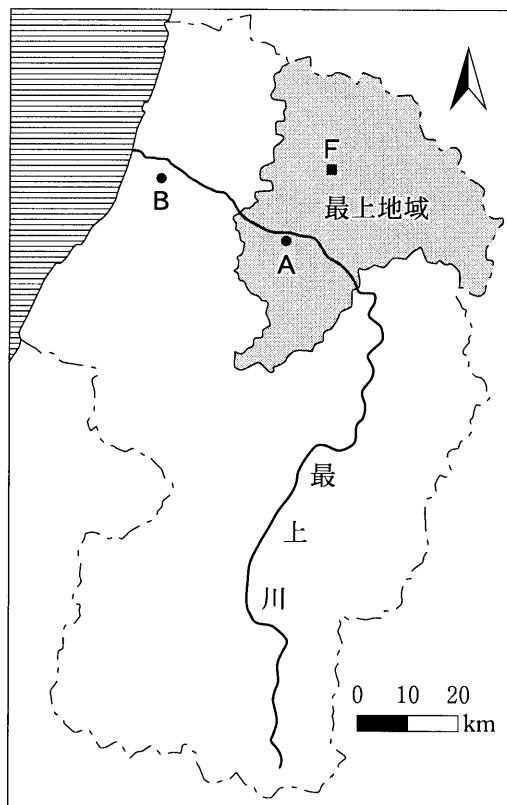


図 1

問 1 チエミさんは、数値標高データを使って山形県の地形を調べた。次ページの図 2 は山形県の地形を 200 m 間隔の等高線で表現したものであり、図 3 は図 2 の最上地域付近に設定した範囲アを図 2 中に示す①～④のいずれかの方向から見た時の鳥瞰図である。図 3 のように見える方向に該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

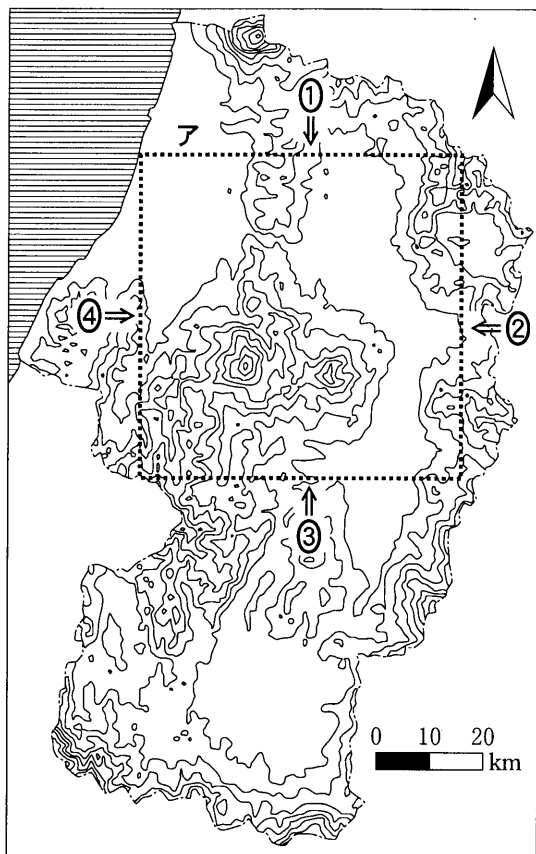


図 2

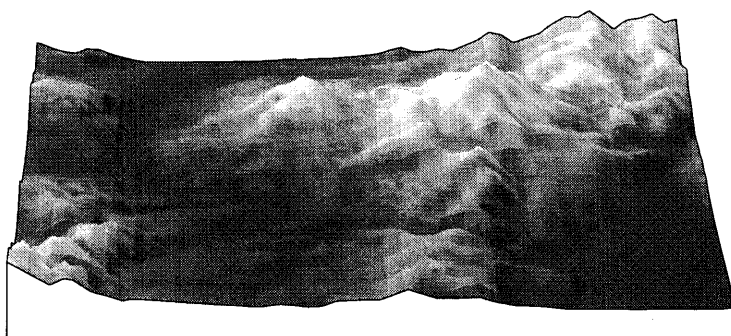


図 3



## 地理B

問 2 チエミさんは、最上地域と隣接地域との間で住居の景観が異なることに興味をもった。次の写真1は図1中のA地点とB地点で撮影した家屋であり、下の文章はそれらの自然環境に対応した工夫について述べたものである。下の文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 8



A地点でみられる家屋



B地点でみられる家屋

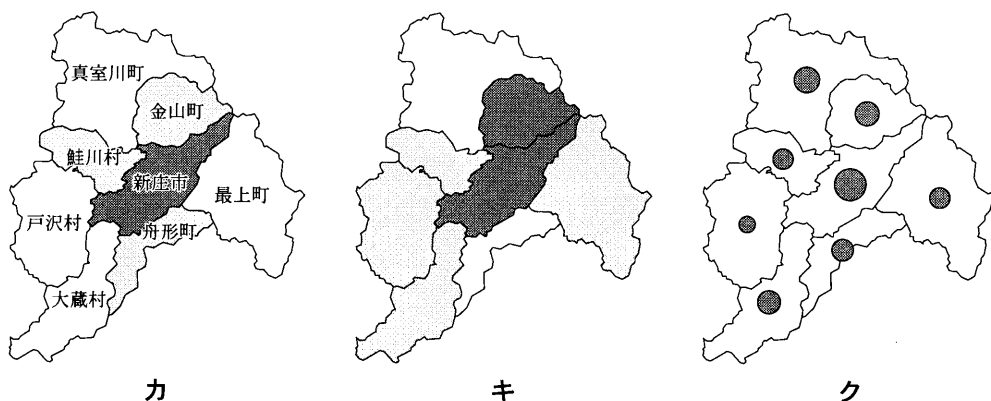
写真 1

A地点では、積雪量の多さに対応した工夫がみられ、①雪の滑落を容易にするための急な傾斜のトタン屋根をもち、②冬季に家屋への出入りを容易にするための高い床をもつ家屋を目にすることが多い。一方B地点では、③夏季にやませの影響を受け、④冬季に季節風の影響を受けるため、屋敷林を設けた家屋がみられる。

問 3 次ページの表1は、最上地域の市町村ごとに15歳未満人口割合、人口密度、野菜の産出額の値を示したものであり、次ページの図4中のカ～クは、いずれかの指標についてチエミさんが作成した地図である。カとキは色が濃いほど、クは円の面積が大きいほど大きな値を示している。カ～クと指標との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 9

表 1

	新庄市	金山町	舟形町	真室川町	最上町	大蔵村	鮭川村	戸沢村
15歳未満人口割合(%)	15.0	14.1	11.6	12.4	13.3	13.3	13.4	13.1
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	182.5	43.0	56.0	26.9	32.6	20.0	44.5	22.6
野菜の産出額(億円)	6.3	3.5	3.2	4.1	2.6	3.3	2.7	1.7



統計年次は2005年。  
 国勢調査などにより作成。

図 4

	カ	キ	ク
①	15歳未満人口割合	人口密度	野菜の産出額
②	15歳未満人口割合	野菜の産出額	人口密度
③	人口密度	15歳未満人口割合	野菜の産出額
④	人口密度	野菜の産出額	15歳未満人口割合
⑤	野菜の産出額	15歳未満人口割合	人口密度
⑥	野菜の産出額	人口密度	15歳未満人口割合

## 地理B

問 4 チエミさんは、真室川町付近の地形を調べることにした。次の図5は、図1中に示したF地点付近の1969年に発行された5万分の1地形図(原寸、一部改変)である。図5にみられる地形について述べた下の文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 10

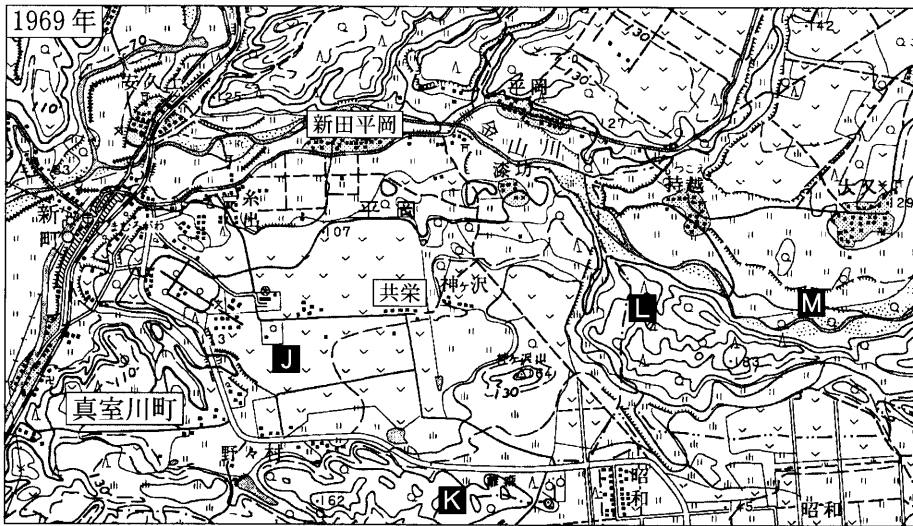


図 5

新田平岡集落の北を通る金山川に沿って①氾濫原がみられる。共栄集落は②河岸段丘にあり、その集落の③約600m南には丘陵地もみられる。共栄集落と新田平岡集落との標高差は④約30mあるため、共栄集落は新田平岡集落に比べて水利条件は良くなかった。

問 5 次の図6は、図5と同じ範囲の2003年に発行された5万分の1地形図(原寸、一部改変)である。チエミさんは、図5と図6を比較して土地利用の変化を読み取った。その変化を述べた文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 11

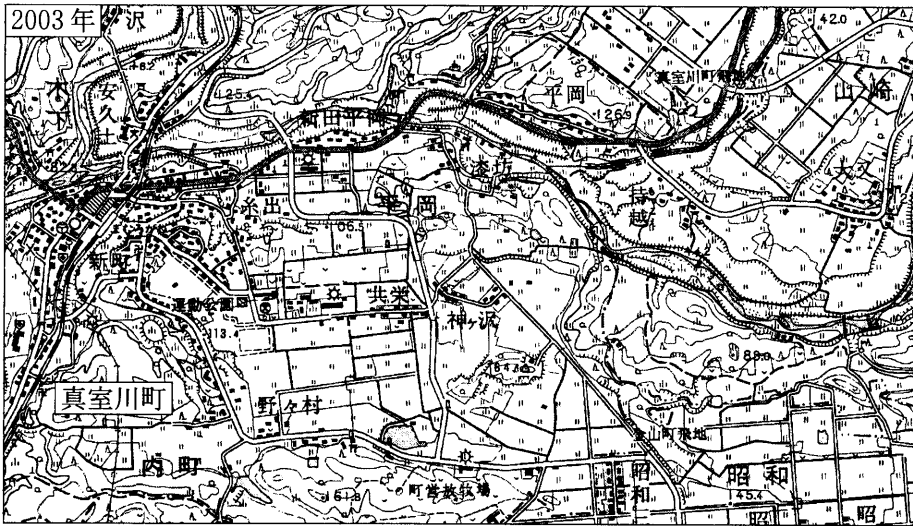


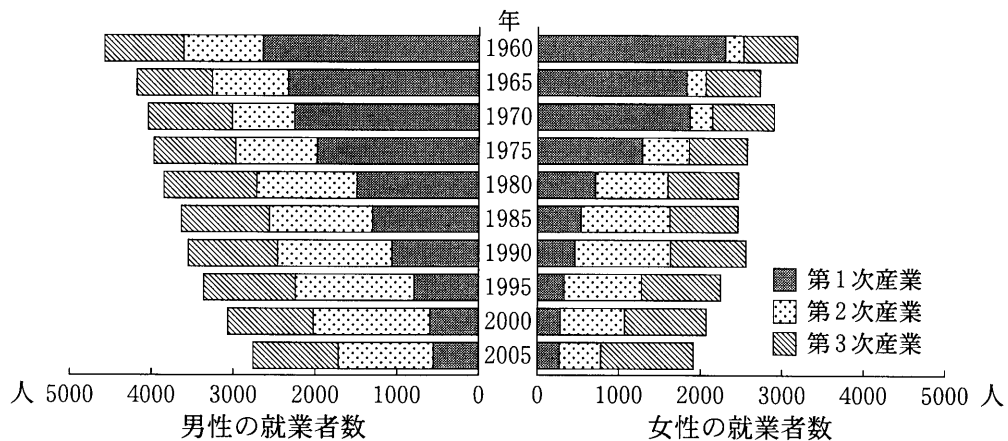
図 6

- ① J地点付近は畑であったが、水田に変化した。
- ② K地点付近では広葉樹林がみられたが、牧草地に変化した。
- ③ L地点付近は広葉樹林と針葉樹林であったが、竹林に変化した。
- ④ M地点付近では広葉樹林がみられたが、堤防が整備された。

## 地理B

問 6 チエミさんは、図6から真室川町への工場の進出を読み取り、真室川町の人々がどのような産業に従事してきたかに興味をもった。次の図7は、真室川町の1960年以降の産業別就業者数を男女別に示したものである。図7から読み取れることがらを述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

12



国勢調査により作成。

図 7

- ① 1970年以降では、第2次産業の就業者数は、男性の方が女性よりも早く減少し始めた。
- ② 1980年の第1次産業の男性就業者数は、1960年に比べ半分以下となった。
- ③ 1985年から1995年にかけて第2次産業の就業者数は、男女ともに増加を示した。
- ④ 第2次産業の就業者数が第1次産業の就業者数を上回った時期は、男性よりも女性の方が早い。

第3問 世界の資源・エネルギーと産業に関する次の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 17)

問1 次の表1中のア～ウは、天然ガスの産出量、輸出量、輸入量のいずれかについて、世界の上位5か国とそれらが世界全体に占める割合を示したものである。表1中のア～ウと指標名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

13

表 1

(単位：%)

順位	ア		イ		ウ	
1位	アメリカ合衆国	13.3	ロシア	21.6	ロシア	22.4
2位	ドイツ	10.4	アメリカ合衆国	17.7	カナダ	11.5
3位	日本	10.2	カナダ	6.3	ノルウェー	10.1
4位	イタリア	8.7	イラン	3.6	アルジェリア	8.0
5位	ウクライナ	5.8	アルジェリア	3.4	トルクメニスタン	5.3

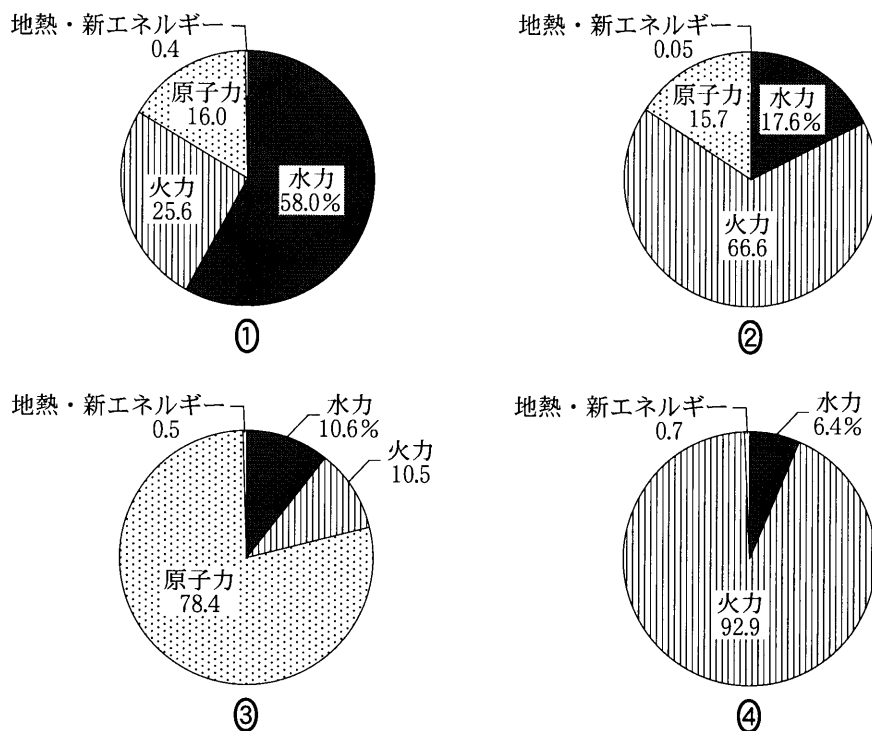
統計年次は2006年。

Energy Statistics of OECD / Non-OECD Countries により作成。

	ア	イ	ウ
①	産出量	輸出量	輸入量
②	産出量	輸入量	輸出量
③	輸出量	産出量	輸入量
④	輸出量	輸入量	産出量
⑤	輸入量	産出量	輸出量
⑥	輸入量	輸出量	産出量

## 地理 B

問 2 次の図 1 中の①～④は、オーストラリア、カナダ、フランス、ロシアのいずれかの国について、発電量の内訳を示したものである。ロシアに該当するものを、図 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 14



地熱・新エネルギーは、地熱、太陽光、風力、潮力、波力などを含む。  
統計年次は 2006 年。

*Energy Statistics of OECD / Non-OECD Countries* により作成。

図 1

問 3 レアメタル(希少金属)について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① レアメタルには地球上に存在が少ない金属のほか、技術的理由や費用の面で純粋なものを抽出するのが難しい金属も含まれる。
- ② レアメタルの埋蔵には地域的なかたよがりがあり、その産出や輸出に国の経済が大きく影響される産出国がみられる。
- ③ レアメタルの大半は、技術の進歩によりリサイクルが容易になったため、近年は地下資源の採掘が減少傾向にある。
- ④ レアメタルは、半導体やエレクトロニクスなどの先端技術産業に欠かせないため、先進国では備蓄もすすめられている。

問 4 次の文章は、工業の立地について述べたものである。文章中の空欄**カ**と**キ**に当てはまる語の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 16

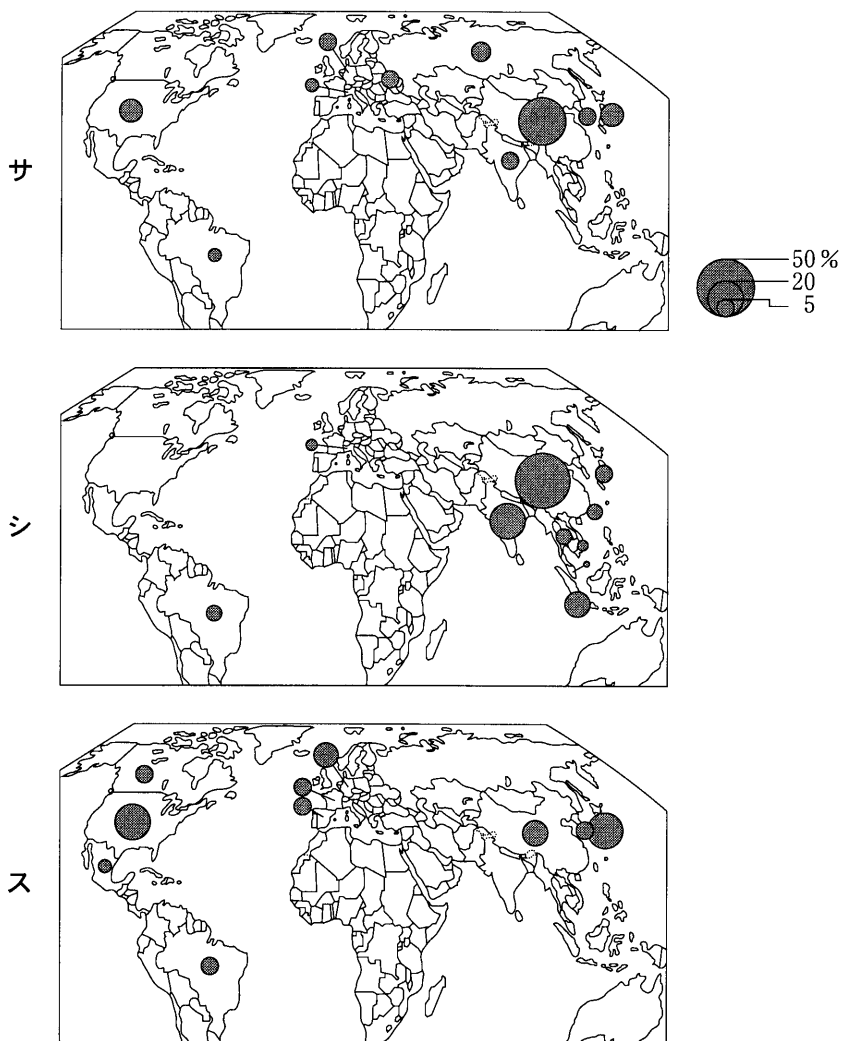
工業の立地において重視されるものは、工業の種類によって異なる。例えば、セメント工業は輸送費を考慮して(カ)への近接性を重視して立地する傾向が強い。一方、労働集約型工業である(キ)は、安価な労働費を重視して立地する傾向が強い。

- ① カー原料産地      キー衣服製造業
- ② カー原料産地      キー石油化学工業
- ③ カー消費市場      キー衣服製造業
- ④ カー消費市場      キー石油化学工業



## 地理B

問 5 次の図2中のサ～スは、自動車(四輪車)生産台数、自動二輪車生産台数、粗鋼生産量のいずれかの指標について、上位10か国・地域とそれらが世界に占める割合を示したものである。図2中のサ～スと指標名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 17



中国には台湾を含まない。  
統計年次は2006年。  
『世界自動車統計年報』などにより作成。

図 2

	サ	シ	ス
①	自動車	自動二輪車	粗 鋼
②	自動車	粗 鋼	自動二輪車
③	自動二輪車	自動車	粗 鋼
④	自動二輪車	粗 鋼	自動車
⑤	粗 鋼	自動車	自動二輪車
⑥	粗 鋼	自動二輪車	自動車

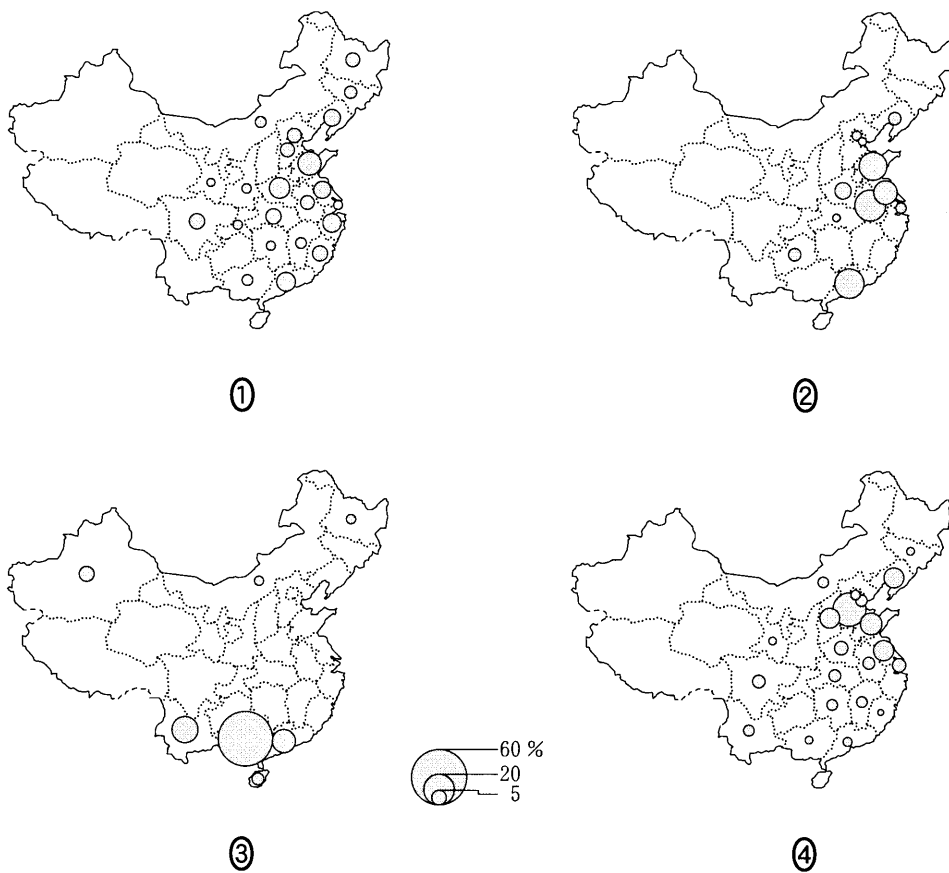
## 地理 B

問 6 次の図 3 中の①～④は、中国\*における家庭用冷蔵庫、精糖、<sup>せんてつ</sup>銑鉄\*\*、ビールのいずれかの生産量について、中国全国に占める割合を省(省に相当する市・自治区を含む)ごとに示したものである\*\*\*。家庭用冷蔵庫に該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。 18

\*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

\*\*粗鋼の前段階で、鉄鉱石から直接に製造される鉄。

\*\*\*割合が 1%未満の省については省略した。



統計年次は 2007 年。

『中国統計年鑑』により作成。

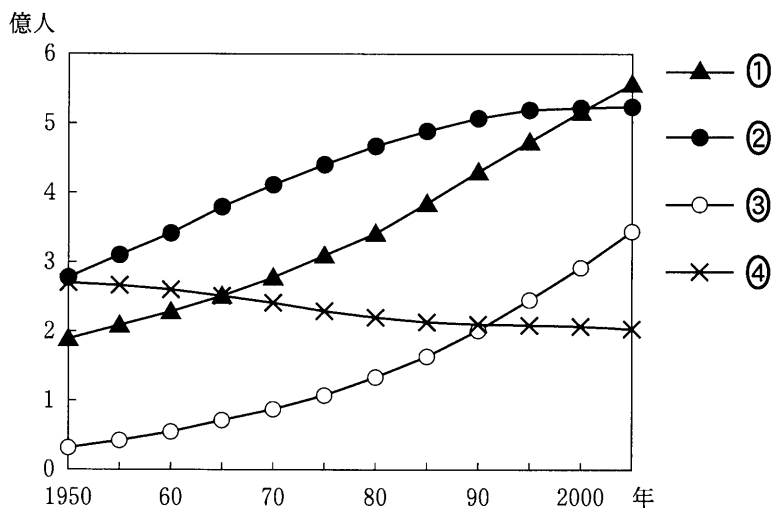
図 3

第4問 都市と村落，生活文化に関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 16)

A 都市と村落に関する次の問い(問1～4)に答えよ。

問1 次の図1中の①～④は，アフリカの都市人口，アフリカの農村人口，ヨーロッパの都市人口，ヨーロッパの農村人口のいずれかについて，その推移を示したものである。アフリカの都市人口に該当するものを，図1中の①～④のうちから一つ選べ。

19



World Urbanization Prospects により作成。

図 1

## 地理B

問 2 都市と河川との関係について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

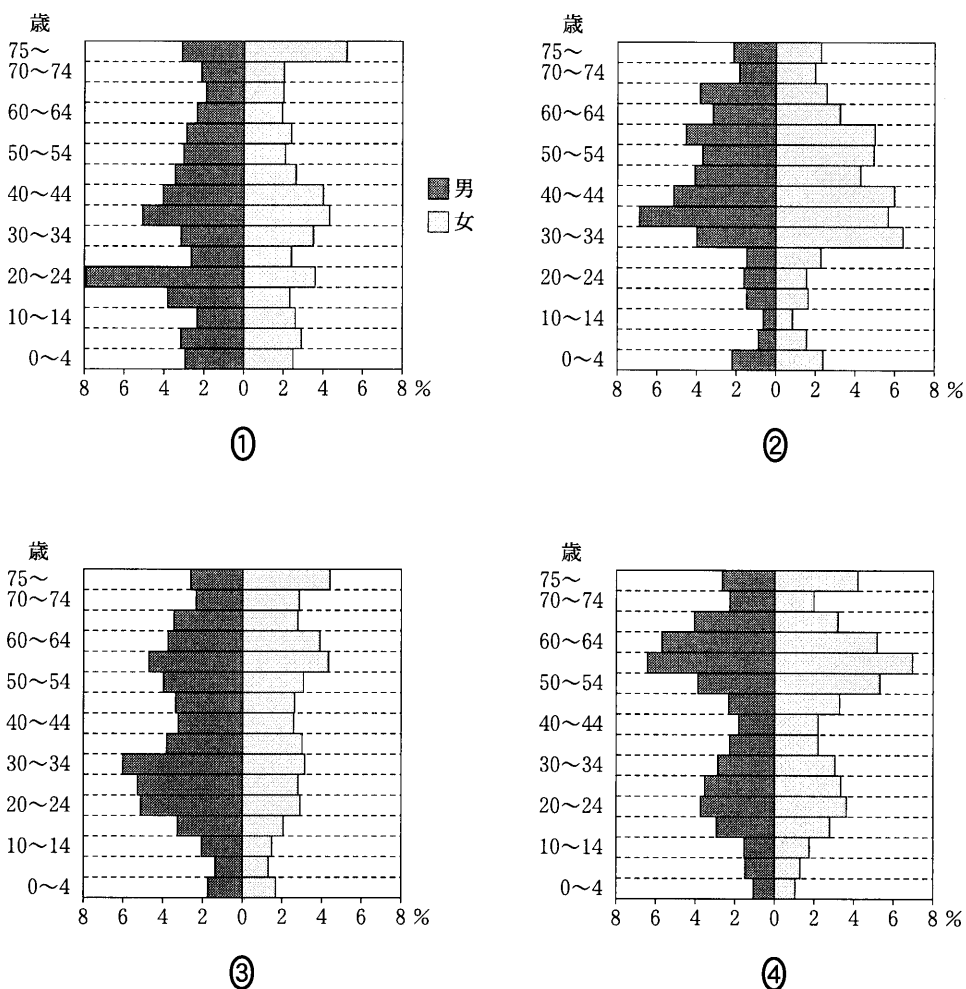
- ① ヴァラナシ(ベナレス)は、ガンジス川に面した宗教都市であり、巡礼に訪れた人々が川で沐浴もくよくしている光景がみられる。
- ② ニューオーリンズは、ミシシッピ川河口部に位置する港湾都市であり、メキシコ湾岸で採掘される石炭の積出港として重要である。
- ③ バンコクは、チャオプラヤ川の三角州(デルタ)に位置する首都であり、果物やみやげ物売る水上マーケットは観光地にもなっている。
- ④ マナオス(マナウス)は、アマゾン川中流に位置する河港都市であり、自由貿易地域に指定されたことにより、外国企業の立地がすすんでいる。

問 3 日本と西ヨーロッパの村落の特徴について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 日本の山間部では、第二次世界大戦後に農地の整理統合がすすんだことから、散村の形態をとる村落が多い。
- ② 西ヨーロッパの平野部では、かつて農業における共同作業や外敵に対する防御が必要であったことから、集村の形態をとる村落が多い。
- ③ 日本の多くの村落では、食料自給率の向上をめざした農業振興によって農業従事者の相対的な所得が上昇したため、人口の増加がみられる。
- ④ 西ヨーロッパの多くの村落では、EU(欧州連合)の共通農業政策によって新規就農者が増加したため、耕作放棄地が減少している。

問 4 次の文は、日本のある大都市に位置するA～Dのそれぞれの地区の特徴について述べたものであり、図2中の①～④は、A～Dのいずれかの地区の年齢階級別人口構成を男女別に示したものである。D地区に該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。 22

- A ウォーターフロントに近年高層マンションが多数建設された地区。
- B 古くからの臨海工業地区に隣接する地区。
- C 大規模な大学が立地する地区。
- D 約30年前に開発された住宅団地からなる地区。



統計年次は2005年。  
国勢調査により作成。

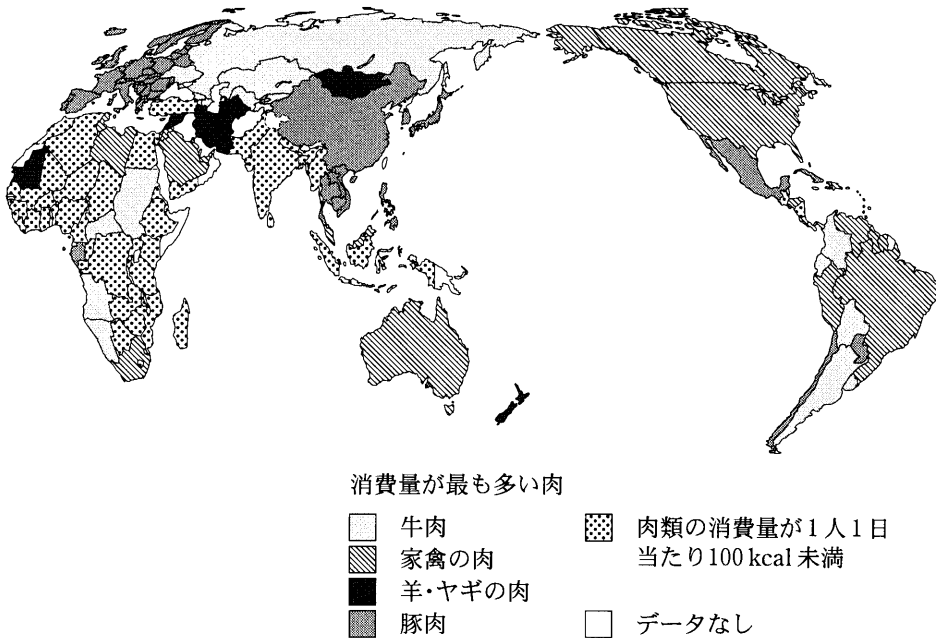
図 2

## 地理B

B 生活文化に関する次の問い(問5・6)に答えよ。

問5 次の図3は、肉類の消費量が1人1日当たり100 kcal以上の国・地域について、牛肉、<sup>かきん</sup>家禽\*の肉、羊・ヤギの肉、豚肉のうち、1人1日当たり消費量が最も多いものを示したものである。図3を見て、肉類消費の地域性について説明した文として下線部が適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。 23

\*鶏などの飼育された鳥類。



統計年次は2001～2003年のいずれか。  
FAOの資料により作成。

図 3

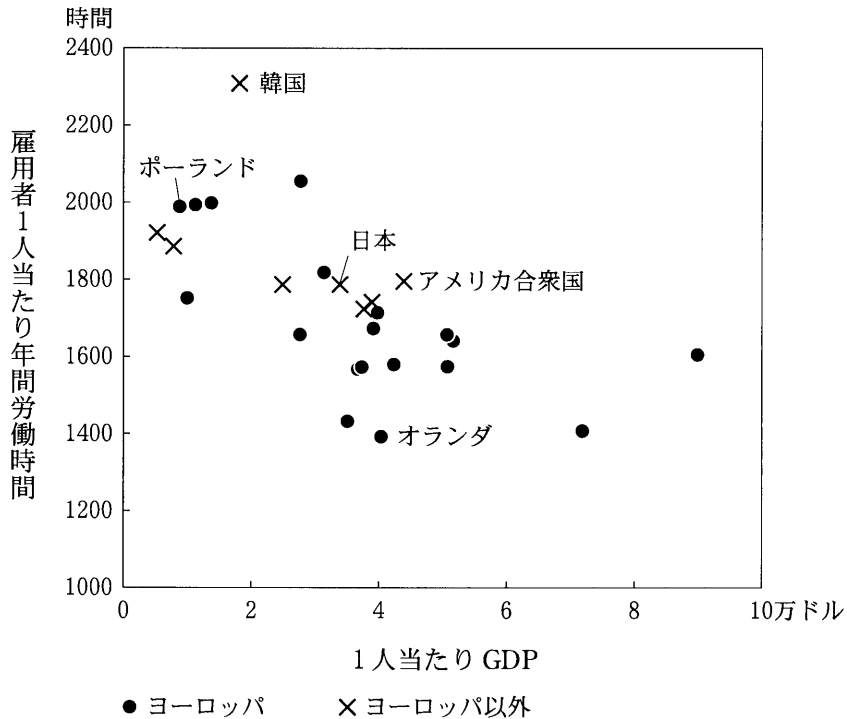
- ① アフリカでは、経済水準が低く植物性食物中心の食事になっていることにより、肉類の消費量が少ない国が多くみられる。
- ② アメリカ合衆国やカナダでは、牛肉を食べる習慣も根強いが、家禽の肉の消費量が最も多くなっている。
- ③ 西アジアでは、宗教的な背景から家禽の肉の消費がほとんどみられず、伝統的に羊・ヤギの肉の消費量が多い国がみられる。
- ④ ヨーロッパの多くの国では、古くから混合農業の1部門として豚の飼育が盛んであるため、豚肉の消費量が最も多くなっている。



## 地理B

問 6 労働時間は、経済水準や生活文化、社会制度の違いを反映して国ごとに異なる。次の図4は OECD 加盟国の1人当たり GDP(国内総生産)と雇業者1人当たり年間労働時間を国ごとに示したものである。図4から読み取れることごととその背景を説明した文として**適当でないもの**を、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

24



統計年次は2006年。  
『世界国勢図会』により作成。

図 4

## 地理 B

- ① オランダは、ワークシェアリングの取組みが広く行われていることなどにより、ヨーロッパの中でも労働時間が短い国の一つとなっている。
- ② 韓国は、1980年代の経済発展にともなって労働時間が増加したことにより、OECD加盟国の中で労働時間が最も長い国となった。
- ③ 日本では、週休2日制の導入など労働時間の短縮をめざした取組みがなされたことにより、アメリカ合衆国と同程度にまで労働時間が減少した。
- ④ ポーランドは、西ヨーロッパ諸国と比べて労働生産性が低いことなどにより、ヨーロッパの中でも労働時間が長い国の一つとなっている。

地理B

第5問 次の図1を見て、ヨーロッパに関する下の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 17)

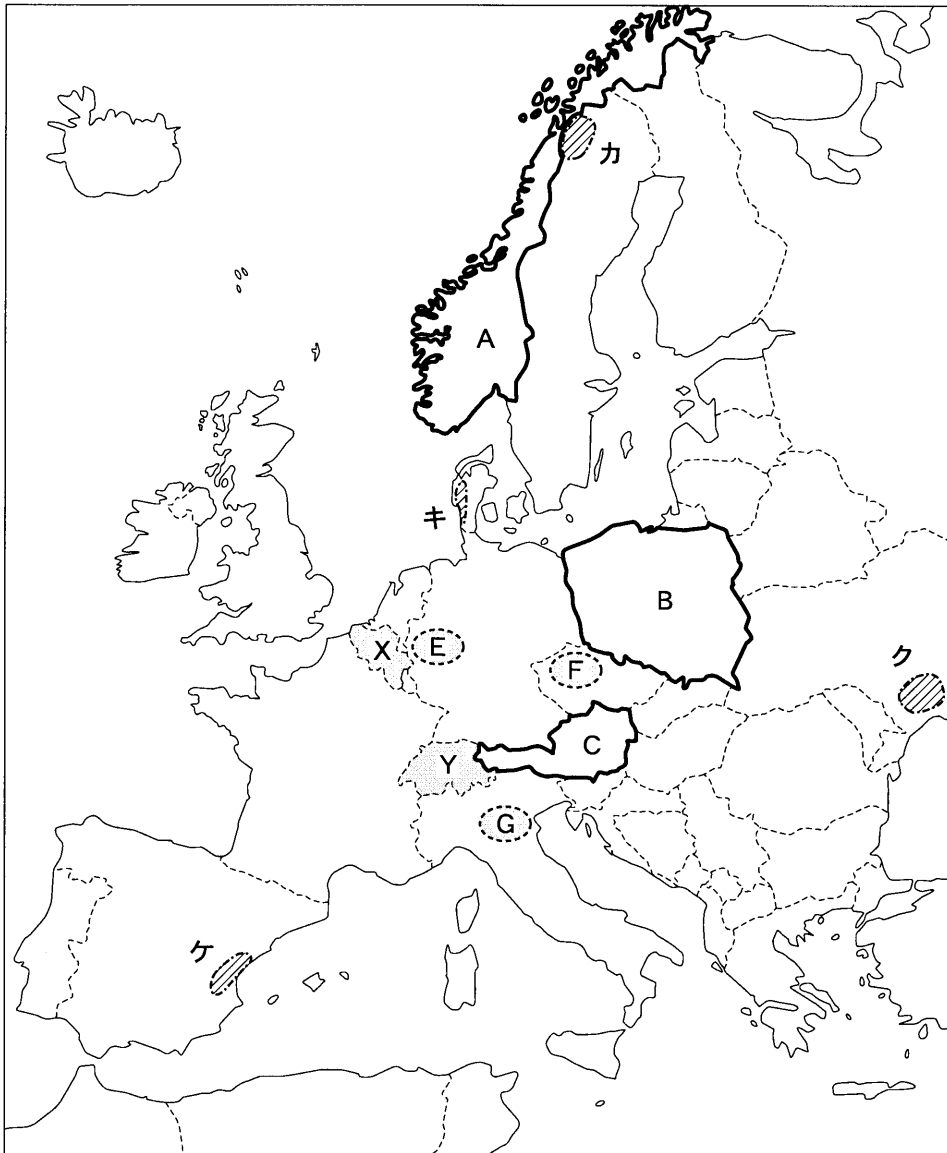
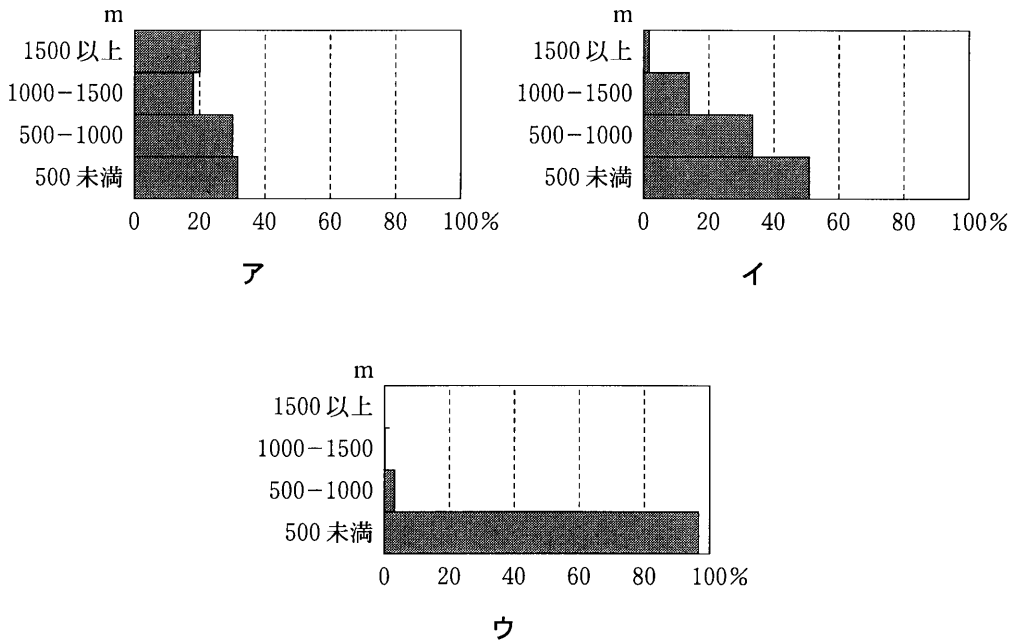


図 1

問 1 次の図2中のア～ウは、図1中の国A～Cのいずれかについて高度別面積の割合\*を示したものである。A～Cとア～ウとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 25

\*図1中に表されていない領土は含まれていない。



National Oceanic and Atmospheric Administration の資料により作成。

図 2

	ア	イ	ウ
①	A	B	C
②	A	C	B
③	B	A	C
④	B	C	A
⑤	C	A	B
⑥	C	B	A

## 地理 B

問 2 次の①～④の文は、図 1 中のカ～ケのいずれかでみられる農牧業の特徴と自然環境とのかかわりについて説明したものである。クに該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 26

- ① この地域は、夏季に著しく乾燥するため、コルクガシやオレンジを栽培している。
- ② この地域は、夏季に冰雪が融けた<sup>と</sup>地表面に生育するコケ類などを利用して、トナカイの遊牧が行われている。
- ③ この地域は、黒色土(チェルノーゼム)とよばれる肥沃<sup>ひよく</sup>な土壤が分布していることをいかして、企業的穀物農業が行われている。
- ④ この地域は、消費地への近接性のほか、氷河の侵食を受けた影響などで土地がやせていることから、酪農が行われている。

問 3 図 1 中の E～G は、ヨーロッパにおける三つの工業地域を示しており、次のサ～スの文は、E～G のいずれかの特徴について述べたものである。E～G とサ～スとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 27

- サ 衣料品や装飾品などの手工業が伝統的に発達しており、企業間の連携をいかけた製品開発が行われている。
- シ 繊維やガラス工業などが発達していたが、近年では賃金の安さから自動車関連の工場などが進出している。
- ス 近隣の資源を利用して鉄鋼業が発達したヨーロッパ有数の工業地域であるが、エネルギー革命や構造不況を経て、近年では工業の多様化がすすんだ。

	①	②	③	④	⑤	⑥
E	サ	サ	シ	シ	ス	ス
F	シ	ス	サ	ス	サ	シ
G	ス	シ	ス	サ	シ	サ

問 4 次の表1中のP～Rは、オランダ、ドイツ、フランスのいずれかの貿易依存度\*と輸出・輸入の貿易額上位5か国を示したものである。表1中のP～Rと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 28

\*GDPに対する輸出額および輸入額の割合。

表 1

		P		Q		R	
		輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
貿易依存度 (%)		60.3	54.0	38.9	31.7	21.7	23.8
順位	1位	Q	Q	R	P	Q	Q
	2位	ベルギー	ベルギー	アメリカ合衆国	R	スペイン	ベルギー
	3位	イギリス	中国**	イギリス	ベルギー	イタリア	イタリア
	4位	R	アメリカ合衆国	イタリア	イギリス	イギリス	スペイン
	5位	イタリア	イギリス	P	中国**	ベルギー	P

\*\*台湾、ホンコンを含まない。

統計年次は2006年。

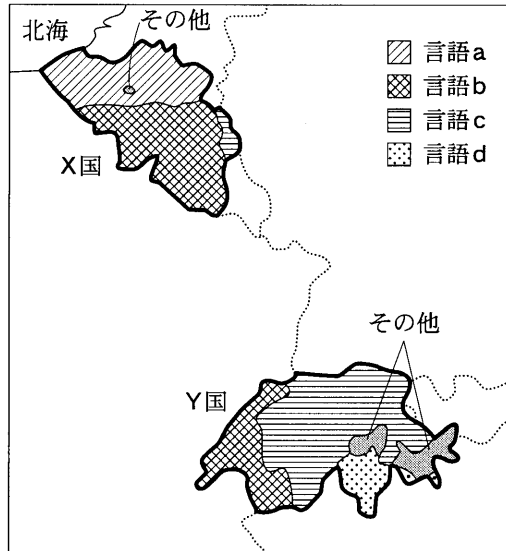
『世界国勢図会』により作成。

	P	Q	R
①	オランダ	ドイツ	フランス
②	オランダ	フランス	ドイツ
③	ドイツ	オランダ	フランス
④	ドイツ	フランス	オランダ
⑤	フランス	オランダ	ドイツ
⑥	フランス	ドイツ	オランダ

## 地理B

問 5 次の図3は、図1中のX国とY国における言語による地域区分を示したものである。X国とY国の言語にかかわる特徴について説明した下の文章中の空欄タとチに当てはまる語の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

29



点線と太線は国境を示している。

Statesman's Yearbook などにより作成。

図 3

言語aとcはともに(タ)語派に属し、言語bとdはともにラテン語派に属する。X国とY国とは、国内で複数の言語が用いられている点で共通している。Y国では公用語を(チ)制定している。

- |   |        |        |
|---|--------|--------|
| ① | ターゲルマン | チ— 一 つ |
| ② | ターゲルマン | チ— 複 数 |
| ③ | タースラブ  | チ— 一 つ |
| ④ | タースラブ  | チ— 複 数 |

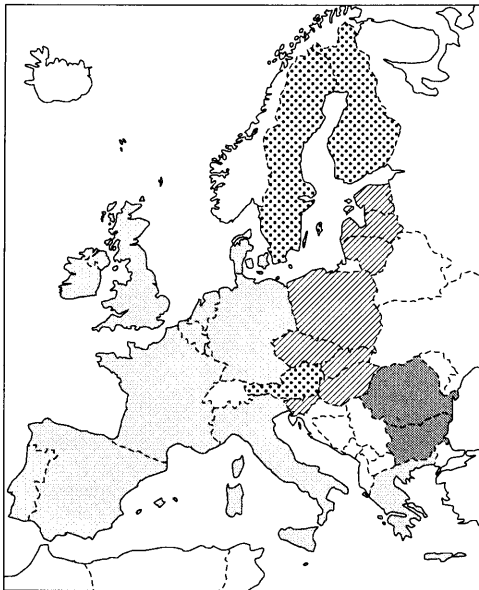
## 地理B

問 6 次ページの図4はEU(欧州連合)の拡大の過程を、図5は図4に示した範囲にある国々\*の1人当たりGNI(国民総所得)の高低を国別に示したものである。図4と図5に関することがらについて説明した次ページの文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 30

\*ロシア・CIS諸国、トルコ、アフリカ諸国を除く。

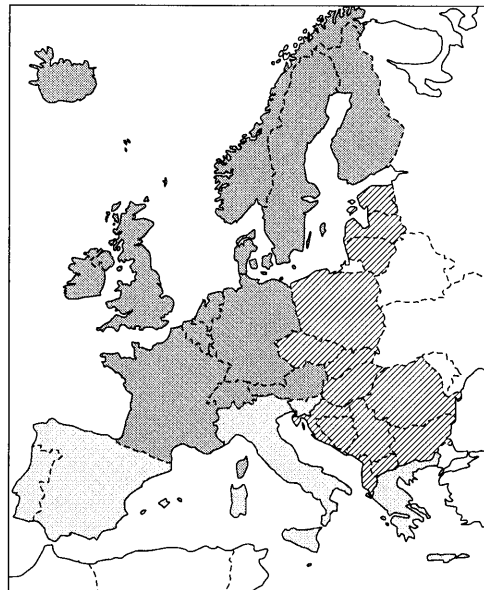


## 地理B



- 1993年EU発足時加盟
- 1995年にEU加盟
- 2004年にEU加盟
- 2007年にEU加盟
- 未加盟

図 4



- 高位(3万ドル以上)
- 中位(1万ドル以上3万ドル未満)
- 低位(1万ドル未満)
- データなし・非表示

統計年次と国境は2004年。  
『世界国勢図会』により作成。

図 5

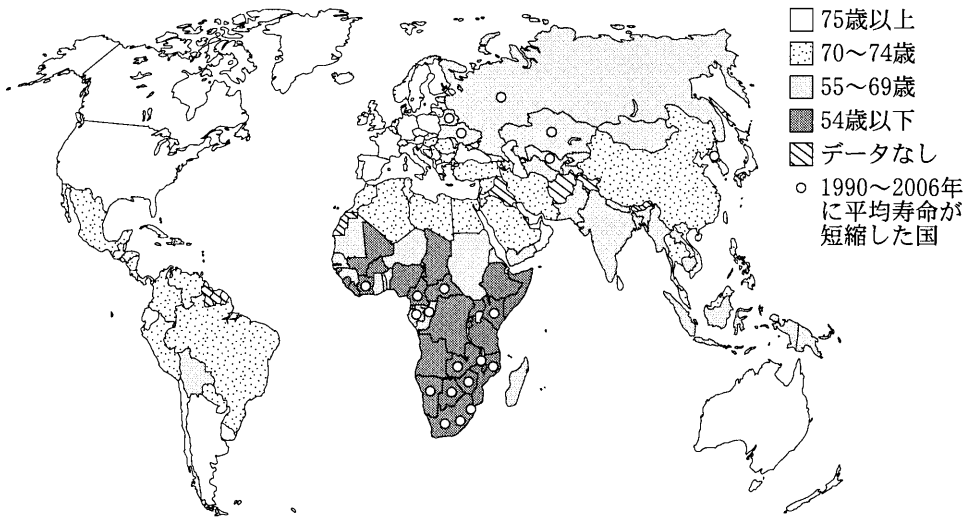
2000年代に入ってからEU加盟を果たした国々の多くでは、1990年前後までは①社会主義体制が採用されていた。また、旧ユーゴスラビア諸国のうち1人当たりGNIが低位である国々は、②紛争や政治的に不安定な状態が続いてきたことも影響してEU未加盟のままである。一方、1人当たりGNIが高位の国々には、③EUへの加盟国と未加盟国が混在している。EU発足時から加盟している国々のうち1人当たりGNIが高位の国々では、④いずれも共通通貨(ユーロ)が導入されている。

## 地理B

### 第6問 現代世界の諸課題に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 16)

問1 次の図1は、各国・地域の平均寿命と、1990年から2006年の間に平均寿命が短縮した国・地域の分布を示したものである。図1から読み取れることごととその背景について述べた文として**適当でないもの**を、下の①～④のうちから一つ選べ。

31



統計年次は2006年。

World Development Indicators により作成。

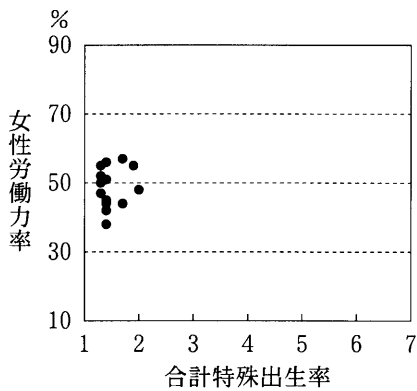
図 1

- ① CIS(独立国家共同体)諸国では平均寿命が短縮した国々が多く、その背景には大規模な自然災害が頻発してきたことがある。
- ② 中・南アフリカでは平均寿命が短縮した国々が多く、その背景には感染症の蔓延<sup>まんえん</sup>がある。
- ③ 西ヨーロッパでは平均寿命が75歳以上の国々が多く、その背景には社会保障や福祉政策の充実がある。
- ④ 南アジアでは平均寿命が69歳以下の国々が多く、その背景には貧困人口が多いことや衛生環境の整備がすすんでいないことがある。

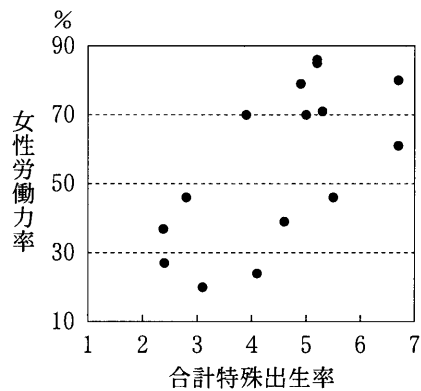
問 2 女性の出産と労働は、国や地域によって状況が異なる。次の図 2 は、いくつかの地域における人口上位 15 か国について合計特殊出生率\*と女性労働力率\*\*を示したものであり、ア～ウは、アジア、アフリカ、ヨーロッパのいずれかである。図 2 中のア～ウと地域名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 32

\*女性 1 人が生涯に産む子どもの数の推計値。

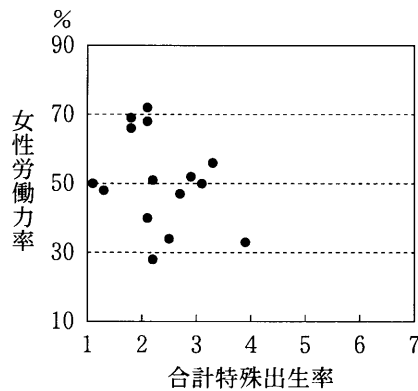
\*\*15～64 歳の女性人口に占める経済活動に従事する女性の割合。



ア



イ



ウ

統計年次は 2006 年。

World Development Indicators により作成。

図 2

地理B

	ア	イ	ウ
①	アジア	アフリカ	ヨーロッパ
②	アジア	ヨーロッパ	アフリカ
③	アフリカ	アジア	ヨーロッパ
④	アフリカ	ヨーロッパ	アジア
⑤	ヨーロッパ	アジア	アフリカ
⑥	ヨーロッパ	アフリカ	アジア

問 3 次の文章は、国際的な労働力の移動について説明したものである。文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。 33

労働者は、よりよい雇用機会を求めて国際的に移動することがある。例えば、① 南アジアからは、多くの人々が西アジアの産油国へ出稼ぎ労働者として移動しており、最近では、② インドのソフトウェア技術者の先進国への移動もみられる。 ③ ブラジルでは、かつて工業技術者として受け入れた日本人の子孫が、出稼ぎ労働者として日本に移動する例も多い。 このため、外国人労働者の多い自治体では、④ 日本語教育の機会を設けたり、多言語表示を増やしたりするなど、様々な対策に取り組んでいる。

問 4 次の①～④の文は、アメリカ合衆国、サウジアラビア、中国、日本のいずれかについて、それぞれの国がかかえている貿易問題を説明したものである。アメリカ合衆国について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

34

- ① 巨大な国内消費を背景に、工業製品やエネルギー資源を大量に輸入しており、巨額の貿易赤字をかかえている。
- ② 高い技術力を背景として工業製品を積極的に輸出し、農産物を大量に輸入する一方、特定の穀物には高い関税をかけてきた。
- ③ 豊富で安価な労働力を背景として工業の発展がめざましく、様々な資源を大量に輸入しているため、資源の国際価格に大きな影響を与えている。
- ④ 豊富なエネルギー資源を有するが、国際機関を通して生産量の調整を行うことによって国際的な需給のバランスに影響を与えることもある。

## 地理B

問 5 世界では国家間の経済的統合をすすめる動きがある一方、統合された地域内では経済格差がある。次の表1は、いくつかの国家群における1人当たり総所得\*と、それぞれの国家群で1人当たりGNI(国民総所得)が最上位の国の値と最下位の国の値を示したものであり、カ〜クはASEAN(東南アジア諸国連合)、CIS、NAFTA(北米自由貿易協定)のいずれかである。表1中のカ〜クと国家群名との正しい組合せを、下の①〜⑥のうちから一つ選べ。 35

\*加盟国のGNIを合計したものを総人口で割った値。

表 1

(単位：ドル)

	1人当たり 総所得	1人当たりGNI	
		最上位の国の値	最下位の国の値
カ	34,525	43,424	7,755
E U*	29,371	71,336	4,002
MERCOSUR**	4,885	7,679	1,087
キ	4,441	6,679	516
ク	1,773	30,058	281

\*欧州連合。

\*\*南米南部共同市場。準加盟国も含む。

統計年次は2006年。

国際連合の資料により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ASEAN	カ	カ	キ	キ	ク	ク
CIS	キ	ク	カ	ク	カ	キ
NAFTA	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 6 インターネットの普及状況は国家間で異なっており、情報格差(デジタルデバイド)が生じている。次の表 2 は、東南アジアのいくつかの国におけるインターネット普及率\*、都市人口率、1人当たり GDP(国内総生産)を示したものであり、①～④はインドネシア、タイ、フィリピン、マレーシアのいずれかである。タイに該当するものを、表 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 36

\*人口に占めるインターネット利用者の割合。

表 2

	インターネット普及率(%)	都市人口率(%)	1人当たり GDP(ドル)
①	55.7	67.6	5,770
②	21.0	32.3	3,252
③	6.0	62.7	1,363
④	5.6	48.1	1,636

統計年次は、インターネット普及率が 2007 年、都市人口率が 2005 年、1人当たり GDP が 2006 年。

ICT Statistics Database などにより作成。